

古山 考える葦

- 児童の合言葉
 ○英語いっぱい
 ○音楽いっぱい
 ○草花いっぱい
 ○笑顔いっぱい

令和6年9月18日発行 発行者：秋山 貴子



夏の名残で日中の暑さは厳しいものの、朝夕は涼しく、せみの鳴き声も衰えて徐々に秋の気配を感じられるようになってきました。

8月末の大型台風、南海トラフ巨大地震の予報、落雷による事故、気温上昇や集中豪雨、様々な自然災害が頻発しています。下野市内の小学校長は今年度「自然災害・気象変動への対応～学校における危機管理の観点から～」というテーマで適切な判断や迅速な対応がとれるよう研究をしています。NHKの天気を解説している気象予報士の平井信行さんに講話もいただきました。

古山小でも危機管理のできる組織であるために夏休みに教職員で研修を行いました。大人が近くにいるときに自然災害が起きるとは限りません。学校では、防災教育や安全教育で子どもたち一人一人に危機回避能力をつけさせていきたいです。

古山小学校児童の学力・学習状況

令和6年4月18日に実施した、県版学力調査「とちぎっ子学習状況調査」（4・5年生対象）と、「全国学力・学習状況調査」（6年生対象）の結果をお知らせします。

【記号の見方】栃木県・全国平均正答率（%）との比較

- ◎：大きく上回っている（5ポイント以上） ○：上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
 ー：同じ（±1ポイント未満） ▽：下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

4年生「とちぎっ子学習状況調査」の結果

	国語	算数	理科
教科総合	◎	◎	◎
基礎	ー	◎	◎
活用	◎	◎	◎

全体的に見ると、どの教科も、県平均を概ね上回っています。算数は県平均と比較するととても上回っていますが、「かけ算の計算の仕方」や「重さの単位」等に課題が見られました。理科の正答率も高かったです。一方で、国語の「漢字を正しく読む・書く」の定着が図られていないことが大きな課題です。

【領域別】

国 語		算 数		理 科	
言語の特徴や使い方・言語文化	▽	数と計算	◎	エネルギー	○
話すこと・聞くこと	◎	図形	◎	粒子	○
書くこと	◎	測定	◎	生命	○
読むこと	◎	データの活用	◎	地球	○

児童の質問紙からは「家で、自分で計画を立てて勉強している」「毎日の生活が充実している」「自分はクラスの人の役に立っていると思う」「人と話すことは楽しい」と答えた児童が多かったです。しかし、「学習に対して自分から進んで取り組んでいる」「自分にはよいところがあると思う」「家の人にはあなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」「自分は家族の大切な一員だと思う」と回答した児童の割合が低い結果でした。

5年生「とちぎっ子学習状況調査」の結果

	国語	算数	理科
教科総合	◎	◎	◎
基礎	◎	◎	◎
活用	◎	◎	◎

教科全体、各種別の正答率において、県の平均正答率を大きく上回っています。強いてあげれば、国語の「文中における修飾と被修飾の関係をつかえる」、算数の「グラフから正しく変化の様子を読み取る」、理科「湯気や水蒸気の違い」「実験結果からの推測」に課題が見られました。

【領域別】

国 語		算 数		理 科	
言語の特徴や使い方・言語文化	◎	数と計算	◎	エネルギー	◎
話すこと・聞くこと	○	図形	◎	粒子	○
書くこと	◎	変化と関係	◎	生命	◎
読むこと	◎	データの活用	◎	地球	◎

児童の質問紙からは、「家で勉強するときに、大体同じ時刻に取り組むようにしている」「難しい問題にであうと、よりやる気がでる」「家の人と学習について話をしている」と回答した児童の割合が高く、学習に前向きな様子が見られます。特に「〇〇の授業内容はよくわかりますか」「〇〇の学習は好きですか」はとても肯定的な回答が多かったです。昨年肯定的な回答割合が高かった「自分は家族の大切な一員だと思う」の回答が低くなっていることが気になります。



6年生「全国学力・学習状況調査」の結果

国 語		算 数	
全体	◎	全体	◎
言葉の特徴や使い方	◎	数と計算	○
情報の扱い方	○	図形	◎
話すこと・聞くこと	○	変化と関係	◎
書くこと	◎	データの活用	◎
読むこと	◎		



どちらの教科も、全国平均を上回りました。特に「書くこと」は、大きく上回っていました。国語だけでなく、自分の考えや理由を書くことを学校で積み重ねてきた成果といえます。昨年度、5年生の時には、国語の漢字を正しく書くことや修飾語の知識などに課題が見られましたが、漢字の学習等、基礎基本に力を入れて指導してきた結果、「漢字を文の中で正しく使う問題」の正答率が上昇しました。しかし、算数では、「整数と小数の混じった計算」「道のり・速さ・時間の関係」に課題が見られました。

質 問 項 目	古山小	全国
・朝食を毎日食べていますか。	90.6	83.4
・自分には、よいところがあると思いますか。	91.8	84.1
・将来の夢や目標をもっていますか。	93.1	82.4
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100	96.7
・人が困っているときは、進んで助けますか。	95.2	92.7
・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	94.1	95.9
・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	96.5	89.9
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	71.8	75.8
・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	96.4	91.6
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	87.0	83.5
・国語の勉強は好きですか。	58.5	62.0
・国語の勉強は大切だと思いますか。	92.9	94.5
・国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか。	92.9	92.7
・算数の勉強は好きですか。	47.1	61.0
・算数の勉強は大切だと思いますか。	89.4	94.6
・算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか。	90.6	94.1
・健康で過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから学んだことを、普段の生活に役立っていますか。	90.6	82.3

上記の数値は、「はい」や「どちらかといえばはい」の肯定的な回答の割合です。児童質問紙で、多くの回答が全国・県と比較して良い傾向が見られました。「国語」や「算数」の教科の学習において、「大切である」「将来社会に出たとき役に立つ」と考えているのに、その教科の勉強が「好き」と答えている割合が低いことがとても気になります。教科の学習を好きになれない原因として学習内容がわからないことが理由の一つにあげられるかもしれません。今後、子どもたちが「わかる」「できる」「楽しい」を実感できるよう授業を工夫して行っていきます。

令和5年度から古山小では、『生きる力を育む歯・口の健康づくり』を推進しているため、「健康教育が普段の生活に役立っている」の回答はとてもよい割合でした。

今年度も夏休み中に教職員で、「とちぎっ子学習状況調査」と「全国学力・学習状況調査」結果の分析を行いました。正答率の低かった内容等においては、学習指導を工夫しながら学力向上に努めていきたいと思っております。今後も好ましい状況を継続しつつ、一人一人を大切に指導・支援をしていきます。

♪かかし祭り♪

5年生6年生がクラスごとに作ったかかしを「かかし祭り」に出品しました。5年3組「歯みがき戦士ミニオン」が最高賞の金星賞に選ばれました。また、ユーモア賞には6年1組「スポンジボム with かっぱーくん」、アイデア賞には5年1組「歯みがきどーもくん」が選ばれました。9月12日放送の「NHK630とちぎ」でも「歯ブラシを持つかかしの出品が多い」と紹介されました。地域の方から「古山小は歯みがきに力を注いでるんですね」と声をかけていただきました。古山小で研究推進している「生きる力を育む歯・口の健康づくり」が子どもたちに浸透していることを再確認しました。



*保護者の皆さんには、個人面談や8月末の夏休み中の宿題（作品）の提出にご協力いただきまして、ありがとうございました。